



かけ はし  
懸 橋



これぞ海の恵み！ シケが治まり新年初の豊漁となった百石漁港

- ◆第4回定例会・第2回臨時会 . . . . . 2～4ページ
- ◆徳島県勝浦町議会広報常任委員会行政視察 . . . . . 4ページ
- ◆産業民生常任委員会調査報告 . . . . . 5ページ
- ◆ミニ議会開催 . . . . . 5ページ
- ◆総務文教常任委員会調査活動報告 . . . . . 6ページ
- ◆一般質問（5人） . . . . . 7～11ページ
- ◆どうなったあの質問 . . . . . 12ページ

# 職員定数条例の一部改正を可決

医師充足率、看護基準の維持及び看護体制の充実に向け、  
おいらせ病院の職員定数を増員



定例会の会期について報告する  
佐々木 光雄 議会運営委員長



提案理由を説明する三村町長

第四回定例会は、十二月四日から八日までの五日間の会期で開かれ、職員定数条例の一部改正、職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正、平成二十一年度一般会計及び特別会計の補正予算など、議案十件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問には、五人の議員が登壇し、町当局の考えを質<sup>ただ</sup>しました。

職員定数を  
十名増員

◆職員定数条例の一部改正

医師充足率、看護基準の維持及び看護体制の充実に向け、国民健康保険おいらせ病院の職員定数を十名増員するものです。

勤務時間を  
十五分短縮

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正

平成二十年人事院勧告において民間企業との均衡と公務能率を図る観点から勤務時間の改定が勧告され、平成二十一年四月から国家公務員の勤務時間が改定されたこと、また、青森県人事委員会において平成二十年及び平成二十一年に報告されたことを踏まえ、勤務時間を八時間から七時間四十五分に改定するものです。

職員の定数（定数は、職員数の上限）

区	分	改正後の定数	21年4月1日現在職員数	差
町長の事務部局	一般職員	144人	137人	7人
	おいらせ病院の職員	58人	45人	13人
議会の事務部局		4人	3人	1人
教育委員会の事務部局		23人	19人	4人
農業委員会の事務部局		4人	3人	1人
合	計	233人	207人	26人



# 21年度補正予算の内容（21年12月補正）

一般会計の補正額は、1億5,437万7千円の増額で、総額を103億9,118万6千円とした。  
特別会計(10会計)の合計補正額は、1億1,670万6千円の増額で、73億654万5千円とした。

(単位：千円)

会 計	補 正 前	補 正 額	補 正 後	補 正 の 主 な も の
一 般	10,236,809	154,377	10,391,186	二川目地区光ファイバー網整備工事費 42,000 二川目保育園整備費補助金 72,931 保育所運営費 11,220 子育て応援特別手当給付費 ▲28,368 木内々小学校太陽光発電設備整備工事費 33,989
国 保	2,654,783	24,187	2,678,970	高額療養費 21,580
老人保健	15,211	0	15,211	
奨学資金	15,482	0	15,482	
公共下水	1,213,681	0	1,213,681	
集落排水	104,927	0	104,927	
介護保険	1,650,743	90,449	1,741,192	居宅介護サービス等給付費 63,963 施設介護サービス等給付費 11,076 居宅介護サービス計画等給付費 15,141
霊園事業	14,295	42	14,337	光熱水費 42
公共用地	47,650	1,965	49,615	洋光台団地定住促進助成金 1,965
後期高齢	129,295	0	129,295	
病院事業	1,343,772	63	1,343,835	(給与費の組み替え)
総 計	17,426,648	271,083	17,697,731	

## 平成21年第2回臨時会

# 一般職職員並びに 特別職及び教育長の期末手当引下げ

第二回臨時会が十一月二十七日に開かれ、報告一件、議案十件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

給与月額、期末・勤務手当引下げ

◆一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

青森県人事委員会勧告に準じて、給与月額及び期末手当、勤勉手当の支給割合を引下げ改定するとともに、住居手当に係る支給対象職員の範囲を改めるものです。

給与月額については、若年層、医療職給料表(一)適用者(医師)を除き、全ての給料月額について引下げ、勤勉手当の支給割合については、〇・〇五月の引下げ、期末手当の支給割合については、六月で〇・一五月、十二月で〇・一月を引下げし、住居手当については、自宅に係る住居手当の廃止をするものです。



第2回臨時会

◆特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正

◆教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

一議案については、町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合について、六月で〇、一五月、十二月で〇、一月を引下げするものです。

◆ハイブリッド車(八人乗り)購入契約の締結

【契約の方法】

指名競争入札

【契約金額】

七百二十三万四千三百六十八円

【契約の相手方】

有限会社 三沢自動車

◆教育用・校務用コンピューター購入(その一)契約の締結

【契約の方法】

指名競争入札

【契約金額】

千六百一万二千五百円

【契約の相手方】

株式会社 金入

◆観光イベント等運営備品購入(その四)契約の締結

【契約の方法】

指名競争入札

【契約金額】

五百八十万六千五百円

【契約の相手方】

株式会社 アイシステム

◆理科等教材備品購入契約の締結

【契約の方法】

指名競争入札

【契約金額】

七百七十一万三千五百二十円

【契約の相手方】

株式会社 根久商店

◆教育用・校務用コンピューター購入(その三)契約の締結

【契約の方法】

指名競争入札

【契約金額】

二千五百三十三万七千二百五円

【契約の相手方】

小岩商店



意見交換する委員



## 徳島県勝浦町議会 広報常任委員会行政視察

平成二十一年十月十八日、徳島県勝浦町議会広報常任委員会が行政視察に来町しました。

勝浦町議会広報常任委員会の委員と議会事務局長の六人が来町しました。

徳島県勝浦町は、徳島県の東南部に位置する総面積六十九・八平方キロメートルの準山間盆地帯で、人口約六千人の町です。

当委員会も委員全員で対応することとし、議会広報の編集を始めとして議会全般について、意見交換しました。活発な意見が数多く出され、当委員会も大変勉強になりました。



# 大型クラゲの被害状況調査を実施

## 産業民生常任委員会

平成二十一年十月二十二日、産業民生常任委員会（西館芳信委員長）を開催し、調査を行いました。

百石町漁業協同組合と町農林水産課の立ち会いのもと、大型クラゲの被害の状況について現地調査をし、説明を受けました。



網に掛かった大型クラゲの駆除作業の様子



現地調査する委員一行（左の船）

現地調査は、三沢漁港から船に乗り、大型クラゲの駆除をしているところを見せてもらいました。大量の大型クラゲが網に入っており、その大型クラゲの駆除の様子を見ることができました。

説明では、九月から一〇月までの目撃情報が七万三千九百八十五個体以上あること、

十月六日、会長をおいらせ町長とした「おいらせ町大型クラゲ被害対策会議」を設置し、おいらせ町と百石町漁業協同組合並びに関係機関において、被害状況及び情報等を共有し、今後の対応を講ずる場合の意見調整を図ることを目的にしていること、平成十五年度、十七年度、十八年度の被害状況と対策事業等について

の説明がありました。

また、百石町漁業協同組合の組合長からは、漁業者の切実な現況についての話がありました。

委員からは、甚大な被害であり、国、県の被害対策への取り組みに対する質問等が出され、被害対策への協力の意見が多くありました。

# 平成二十一年三三三議会開催

平成二十一年十二月二十五日、町内小学校六年生を対象に、三三三議会が開催されました。

三三三議会は、おいらせ町まちづくり推進委員会が、「議場で議会を模擬体験することにより、町議会ひいては行政の仕組みについて理解と興味を深めてもらう。」ことを目的とし、毎年開催しています。

町内各小学校六年生を対象に、各小学校三名の計十六名が、議長と議員になり、議員の質問に、町三役等が答弁する形で進められました。

議長となった木内々々小学校の柏崎乃々さんの進行で、「町のPRをしてほしい」

「町内に陸上競技場を作ってほしい」、「おいらせ町のこだわりメニューを考えたらどうか」、「おいらせ百石まつりとおいらせ下田まつりを合わせて一つの大きなまつりにしてほしい」等の質問、意見が出され、中には再質問もあり、活発な議論となりました。



三三三議会終了後の記念撮影

# 総務文教常任委員会調査活動報告

平成二十一年十月十三日から十六日まで実施した調査活動の概要を報告します。

年一回は、防災訓練を実施しています。

## 大地震による津波への

### 対策施設

(三重県志摩市)

志摩市は、平成十六年に旧志摩郡五町が合併し誕生した人口約五万八千人の市です。

平成十四年に東海地震に関する地震防災対策強化地域として指定され、平成十五年には、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されました。

津波対策の一つとして、津波避難タワーがあります。設置された地区は、地震発生から十六分後に高さ五・一二メートルの津波が押し寄せてくると想定され、タワーは津波の波と震度七まで耐えうる頑丈な構造になっています。

地震発生から十六分というところで、速やかな高台への避難の周知、啓発を徹底しており、地区の自治会では、最低



津波避難タワー

## 全国初クレジットカード

### による収納

(三重県玉城町)

玉城町は、伊勢市と松阪市に挟まれた面積四十・九四平方キロメートル、人口約一万五千人の町です。

平成十一年度より交代制勤務を導入し、午前八時三十分から午後七時まで役場を開庁

し、これまでなかった窓口業務等住民サービスの向上に努力しています。

収納対策は、副町長を座長とし、関係課長で組織した滞納整理機構で、町に収める全てのものを対象に対策を講じ、平成十五年からは、全職員による個別徴収を職員の意識改革も兼ね、年末、三月、五月に実施し、また顧問弁護士契約により、差押予告通知の依頼をしています。平成十六年からは、新規滞納者を対象にコンビニ収納を開始し、平成十九年からは、クレジットカードによる収納を開始し、納付方法の選択肢を広げることの住民サービスを充実させています。

また、今年度から役場職員の自治区担当制度を導入し、自治区をある程度まとめ、班を編成し、その班に複数名の地域担当職員を割り、その班員が区長文書等の配達や地域諸課題の聞き取り・情報交換、実情の把握などを通じ、地域活動の後方支援を行い、住民の「身近な行政」を推進しています。



説明を受ける委員一行

## 井手町

### まちづくりセンター 椿坂

(京都府井手町)

井手町は、京都と奈良の中間に位置し、面積十八・〇一平方キロメートル、人口約八千五百人の町です。

豊かな里山の景観が広がり、平安中期に作られた『大和物語』の中にある下帯恋物語の舞台でもある、椿坂や石橋瓦窯跡などの歴史資源に恵まれた上井手の棚田に、「井手町まちづくりセンター 椿坂」が平成十五年四月にオープンしました。この施設は、住民と訪れた方が主体的に活用できる「まちづくりセンター」の案をまちづくり団体

の関係者が、設計・管理・運営方法などをワークショップの手法で合意形成を図り、その内容を踏まえた基本設計で建設されました。

管理・運営については、まちづくり団体十三団体で構成する「井手町まちづくり協議会」で行い、町内のまちづくり団体の活動・井手町の情報発信拠点、また住民や訪れた人たちの交流拠点として利用されています。



まちづくりセンター 椿坂

三市町の調査活動を通じ、一部には、地域性の違いや課題もあり、どうかと思う施策もありましたが、多くは、当町でも取り入れたほうが良いと思われる、大変勉強になりました。

委員長 沼端 務 記



## 一般質問



松林義光 議員

### 大型クラゲによる 百石沖での被害 状況と被害金額は どのくらいか

**質問** 百石沖で、九月十六日、初めて大型クラゲを確認以来、毎日押し寄せ、延べ二万以上にもなるとのこと。クラゲの影響で網を揚げることもできない、網が破れるなど相対の被害と聞いているが、今日までの被害状況と被害金額を示されたい。

**答弁** 大型クラゲの来遊数は十一月末現在、二十四万個体が確認されています。被害金額はおよそ五千万円です。

**質問** 大型クラゲによる漁業者の被害は甚大であるが、町はどのような救済策を講じるのか。

**答弁** 大型クラゲ被害対策会議を設置し、過去三回の被害の経緯を踏まえ、今後、対策会議の中で議論してまいります。



百石沖に大量に出現した大型クラゲ

### 入札問題を問う

**質問** 百石中学校改築給排水衛生設備工事の指名は、町内の業者は一社だけです。町内の業者に受注機会を与えない指名に大いに疑問を持っています。何故一社か、その根拠を明確に示されたい。

**答弁** 機械設備工事を分離しない場合は、一億三千万円と多額な工事費となり、地元業者の実績等を考慮し、地元業者に受注機会を与えるため、給排水衛生設備工事と空調換気設備工事に分離することになりました。給排水工事に一社、空調換気設備工事に二社と単純に割り振りしただけです。ご理解を願います。

### 家庭ゴミの有料化は どのようになってい るのか

**質問** 家庭ゴミの有料化の有無を、十和田地域広域事務組合で設置しているゴミ有料化等検討委員会で今年度中に結論を出すとのことですが、現在の進捗状況はいかに。

**答弁** 今年度中にゴミ減量へ向けた行動計画を作成し、二十二年度から二十四年度までの三年間、計画を実行するとともに、ゴミの減量化、資源化、最終処分場の延命における具体的な方策の効果を検証する方針です。効果が上がれば当面有料化しない方向であると伺っています。

### 木ノ下・三沢線を 整備する考えは ないのか

**質問** この路線は、路面の損傷が著しい上に、歩車道境界ブロックにあつては原形をとどめていないのが現状です。更に大型車の通行時には、振動があり、その振動が地域住

民の生活に影響を及ぼしているとのこと。これらの解消のためにも、早期に整備すべきであると思うが、町長の考えは。

**答弁** 本路線は、当町の幹線道路で、交通量も非常に多い路線です。また、交通量も年々増加しているため、舗装の損傷が著しいことや、歩車道境界ブロックの劣化、歩車道の段差もあり、地域住民からも早期対応が求められており、早急な整備が必要であると認識しています。



路面・縁石が損傷している木ノ下・三沢線

# 一般質問



吉田 絹恵 議員

## インフルエンザ対策

**質問** 新型インフルエンザ冬季流行への備え対応について問う。

**答弁** 現在当町においての罹患者は幼児百六十五名、小学生五百名、中学生百六十一名で罹患率は二十四・二%です。町では優先順位に沿って六医療機関でワクチン接種をしております。ワクチンの供給量不足、季節性インフルエンザの接種者が倍増しているため、対応に苦慮している現状です。今後予防対策として一、保健所等、関係機関との連携を図り、速やかな情報収集・提

供に努めます。二、小・中学校を対象に集団接種を実施します。三、手洗い、うがいなど感染予防の徹底を呼びかけます。

**質問** インフルエンザの接種時期、料金、幼稚園、保育園の集団接種はどのように考えているか。

**答弁** 十二月十四日、下田小学校から始めます。中学校は一月四日を予定、幼稚園、保育園はゼロ歳から六歳まで千三百名中九百名が施設に入所していますがその他は家にいるので個別接種で行います。料金は一人当たり二回接種で六千五百円、二回目の接種が違う医療機関であれば七千二百円となっております。

## 循環型社会への取り組み

**質問** ごみの循環型社会へ新たな取り組みを問う。

**答弁** 環境美化行動計画に基づき、町民、事業者、土地占有者、町がそれぞれの役割分担と責務のもと連携、協力し

ながらごみの減量、資源化などの美化活動に取り組んでいきます。「ごみは出さない」「使えるものは使う」「使えなくなったものは資源として利用する」を実践する事が大事であります。このような状況を踏まえ循環型社会の形成がますます重要と考えます。町のリサイクル率十三・二%を平成二十五年末までに十六・二%の目標達成を目指します。

**質問** 家庭用生ごみ処理機の申請の件数は。

**答弁** 二百十三件です。



平成22年初めてのごみ減量できたかな

## 給食センターについて

**質問** 給食センター建設について今後議論を深めたり変更する予定はないか問う。

**答弁** 学校給食事業の運営方法についてはセンター方式で進めることに二十年度の所信表明で明らかにしております。十九年度に関係課の職員で学校給食運営検討会議を立ち上げて検討しました。その結果将来の町財政を考慮し、両方式のランニングコスト、衛生管理、運営管理、児童生徒への同一配食等からセンター方式が望ましいという意見書が報告され、確認したところで

す。二十六年年度給食センター建設工事を行うこととしております。建設場所、規模、運営方法など議員各位の英知をも頂きながら議論を深めていきます。

センター方式にすることによって地産地消ということも大きく前進すると思われれます。センター方式の中でも食育教育を行なっていくととらえています。

## 活動、行事の検証と公表について

**質問** いろいろな活動、行事についての検証・公表について問う。



今後、まつりはどうなるの？

**答弁** 町のイベント、各団体の活動等は原則として、町の施策の中に位置づけられ、基本構想、基本計画に基づき、実施計画として定められております。実施計画の策定にあたっては、施策体系別に事業内容と事業費等を計上し、毎年ローリングして予算化され、事業実施されることとなります。

事業に対する評価については現段階では定型化した評価システムとして確立されていないことから公表に至っておりません。今後、事務事業の透明性や町民ニーズの反映を図る上で評価システムの導入、公表に向けて検討してまいります。



# 一般質問



西館 芳信 議員

## 町の金を無駄に使わず、町民が直接受給できる体制の確立を

**質問** 町が発注する委託業務の中に、資格や特別な技術を必要とせず、一般の町民でもできる簡易な仕事が約八千万円分はある。一円でも多く町民に直接落とすために、

一つ目は、委託業務を民間の会社を仲介させず、総務課あたりが、事務を担当して、現場で働く人にそのまま受給させることはできないのか？

二つ目は、緊急雇用対策事業の補助金等を会社に丸投げをしないで、同様の改革ができないものだろうか？

三つ目は、町発注の入札工事の落札率が、長い間、九十五%前後で推移している。これを先進地の例に倣い、一般競争入札等に改めれば、年間一億近くの町の金が節約できるのでは？

**答弁** 一つ目の委託業務の発注の見直しですが、これに該当するものは、児童厚生事務、図書館事務等十四業務あり、七十八名が働いておりますが、直営との比較経費、総合的な行政コストの評価をして決定しているので、ご理解をいただきたい。

次に二つ目の緊急雇用対策

事業に関する件ですが、二つの事業があり、一つは緊急雇用創出事業で、地方公共団体が直接雇用することも可能ですが、もう一つのふるさと雇用再生特別基金事業については、ハローワークと連携して、企業が事業の対象ということですので、地方公共団体の直接事業はできないこととなっております。

三つ目の入札見直しの件ですが、近年、一般競争入札により、価格競争が激化し、ダンピング受注による品質の低下を招いております。

落札率が高いと言われましても、町は設計単価を参考にして予定価格調書を作成し、執行しているの、高いから一般競争入札にと言われても、地域限定にした場合は変わらないのではないかと思っております。もし、落札率が高いということであれば、原点の設計単価の見直しから入っていくべきかと考えております。

## 自殺防止対策について

### 質問

自殺防止対策についてですが、わが町は全国的にトップクラスの青森県の中でも、また、トップクラスの自殺率となっている。

そこで、一つ目として、わが町の近隣町村と比較した実態を示していただきたい。

二つ目は町長はその実態をどう捉え、どんな施策を講じていくのかを問う。

**答弁** 一つ目の「おいらせ町の自殺を取り巻く現状ですが、県内の市町村別では、おいらせ町は平成十五年以降、自殺者数は平均十五人で毎年第七位から十位と、他の地域より高い傾向で推移しております。人口十万人当りの自殺死亡率も平成十五年から十九年の五年間の厚生労働省統計と比較すると、県内で男性が八十四・七%で第二位、女性が二十・五%で第四位と上位に位置しております。

二つ目、「この現状を鑑み施策」についてであります。現在の厳しい雇用・経済情勢を考えると、今後の当町の動向も決して楽観できない状況にあると思っております。

また、自殺の原因は、失業や倒産、多重債務、健康問題、家庭問題など、背景には複雑な問題が絡み合っており、対策も簡単ではないでしょう。

しかし、自殺の要因の一つにうつ病が大きく関与していると言われてきております。これを踏まえ、この健康相談窓口の設置、事業所等へのうつ予防健康教室、重点地区へのこの健康診断、うつスクリーニング、広報誌等を活用した啓蒙・啓発などに取り組んでおりますし、今後、も悩んでいる人に命を大切にすることがこの健康づくりが届くような取り組みをしてまいりたいと考えております。

庁舎に掲示されていた自殺防止ポスター

# 一般質問



川口 弘 治 議員

## 合併による 課題について

**質問** 合併によって良くなった点、また、課題も見えてきていると思われれます。町では合併検証を行っている最中ではありますが、多くの課題の中から次の二点について早急に改善をして頂きたい質問をします。

- ① 放課後子どもプラン事業の改善
- ② スクールバス運行事業の改善

**答弁** ① 放課後子どもプラン事業の改善については、昨年度、放課後児童健全育成事業並びに放課後子ども教室推進事業についての評価や連携方策の検討などを行うおいらせ町放課後子どもプラン運営委員会を立ち上げ、放課後子どもプランを策定しました。

子どもへの安心・安全な居場所づくり事業としては、町内全般に広く取り組んでいいるものの、希望する子どもすべてということを考えて、行き届いていないのが現状であると存じます。今後、公共施設の活用方策などについて取り組みを進めてまいります。

② スクールバス運行事業の改善についてはありますが、百石中学校の二川目地区の生徒に対しては、町民バスの運行時間の関係上、朝の通学のみ利用で、帰りについては利用できない状態です。つきましては、帰りについても対応できるように、その方策について、鋭意取り組んでまいりたいとの考えを進めておりますので、どうぞご理解の程をお願いします。

## 百石漁港について

**質問** 町では漁業発展のため、また、観光資源としてのような施策を考えているのかお伺いします。

**答弁** 百石漁港につきましては、工事は来年度も継続されるものの、平成二十二年四月に供用開始され、漁船の入港が可能となります。荷さばき施設の建設及びその有効活用については、現在検討している最中でありま

すが、政権が変わり水産庁においても事業のヒアリングを実施することができず、具体的な活用方法までは検討できていないのが現状であります。また、観光資源としては非常に有益なものであり、これを利用しない手はないと考えております。他町



平成22年4月供用開始される百石漁港

## 生活安全対策について

村でも漁港を利用した各種イベント、朝市等、開催されておりますが、関係機関と協議を進め、より現状にあった計画を検討していく必要があると考えております。

**質問** 最近、防犯効果が高いと言われています青色防犯灯が注目をあびています。この青色防犯灯を小、中学校通学路を中心に整備する考えはな

いかお伺いします。

**答弁** 生活安全対策については、最近、青い色が防犯のイメージカラーとして定着しつつあり、全国各地では青色防犯灯や青色回転灯を設置するところが増えてきております。なお町では、既に下田駅前駐輪場の蛍光灯を青色に変え、防犯効果の検証を続けているところであり、今後検証結果を踏まえた上で、小中学校の通学路や公園への試験的な設置を検討してまいりたいと考えております。



青色防犯灯を設置した下田駅前駐輪場



# 一般質問



馬場 正治 議員

## 納得できない町民

### 懇談会と合併検証 アンケート調査

**【質問】** 今年の三月定例会で町民に合併の評価を問うべきと質問したが、先般実施された町民懇談会と合併検証アンケート調査の手法について、

- ① 各地区の懇談会参加者数。
- ② 要望等のほかに、合併についての評価や不満の声は。
- ③ 町民意識について、町長の総合的な感想は。
- ④ 合併検証に関するアンケート調査の対象を、各町内会や団体に十人とか五人とかに限定した理由は。

〔別表〕各地区の町民懇談会参加者数

地区	人数
北公民館	21
木ノ下ふれあい館	21
向山児童館	29
木内々コミュニティセンター	17
豊栄地区コミュニティセンター	26
間木地区コミュニティセンター	32
阿光坊地区農事集会所	8
本村地区コミュニティセンター伝承館	12
三田会館	23
洗平地区農業構造改善センター	20
一川目地区生活会館	10
二川目地区生活会館	9
東公民館	10
藤ヶ森地区生活会館	18
洋光台地区コミュニティセンター	19
堀切川コミュニティセンター	8
秋堂コミュニティセンター	10
合計	293

**【答弁】** ① 各地区の参加者数は別表のとおり。

② 事業全般に一定の評価をいただいた一方で、旧町の事業バランズや公園、施設の利用に関する不満も聞かれたほか除雪や道路整備の要望が多かったが、可能なものは直ちに対応または検討するよう、翌日担当課に指示した。

③ 町民相互の融和が着実に図られており、改めて合併して良かったと実感している。

④ アンケートは五十八町内会やPTA、婦人会、老人クラブ等に各十部、体育協会や文化協会加盟の団体に各五部、

合計約千五百人に団体の長を通じて実施したが、統計学上、合併検証に十分なデータであると判断した。

**【再質問】** ② 町長との懇談会

で要望すれば、翌日担当課長が動くという方はいかかなものか。日常から町の隅々の声を聞く姿勢が必要と考える。時期的にも公費を使った選挙運動と見られても仕方がない。

③ 社会福祉協議会の会費が高い方に統一されたこと等、不満を感じている町民も多いため、できるだけ負担を少な

くするよう再検討を求める。

④ 統計学上はどうあれ、特定の団体を対象に部数を限定したアンケートは全町民に対して公平・公正でないため納得できない。従来通り無作為抽出で実施すべきだ。

**【答弁】** ② 今後は、様々な方法で一般町民の声を行政に取り入れるよう努力したい。

③ 評価と不満について、できるだけ町民の声を聞く機会を増やして見直しをしていきたい。

④ アンケート調査についてはご指摘の通りと受け止め、次回からはより適切な方法を検討する。



「町長と何でもしゃべり合おう！町民懇談会」

## 政権交代が

### 町政に及ぼす 影響は？

影響は？

**【質問】** ① 新政権の事業仕分けにより「廃止、凍結、削減」等と判定された国の事業が、わが町に与える影響はないか。

② 地方からの陳情の窓口一本化についてはどうか。

**【答弁】** ① 六月定例会で承認された経済危機対策臨時交付金を当てた十八事業、総事業費約三億四千万円の補正予算のうち、子育て応援特別手当給付金事業の約三千万円は、国の事業の執行停止により減額となったが、町の総合計画への影響等はないものと考えてる。

② 新政権の方針により従来陳情政治はできなくなると思われるが、決められた方法で適宜、適正に要望していく。



# ????? どうなった あの質問？

## おいらせ町緊急経済対策の主な事業について

(単位：千円)

事業名及び事業内容	実施年度	事業費	進捗状況
【ふるさと雇用再生特別交付金事業】 おいらせブランド推進協議会 プロジェクト運営事業	21～23	13,155	実施中
【緊急雇用創出事業】 ①散策道路景観保全事業 ②各種台帳整理事業	21～23	20,300	実施中
【中小企業等への支援】 信用保証料補助金	20～21	10,000	実施中
【地域活性化・生活対策臨時交付金】 ①町道整備事業(単独) ②家庭用生ごみ処理機補助事業 ③学校吹奏楽部楽器購入事業 ④体育施設備品購入事業 ⑤水辺環境保全事業	20～21	139,341	済
		15,000	実施中
		9,806	済
		7,141	済
		4,515	済
【子育て応援特別手当】	20～21	16,206	済
【定額給付金交付事業】	20～21	381,632	済
計		617,096	

これまで定例会で行われている一般質問の中から、今回は平成二十一年三月議会で議員が質問した経済対策について進捗状況を調査しました。



町道整備事業で整備された木内々・本町線側溝整備工事



水辺環境保全事業で設置された間木堤の浮き島

### 編集後記

新しい年をむかえ早や一ヶ月、昨年からつづく新型コロナウイルス感染症に注意しながら、日々の生活を送っている中で、二月十二日から、いよいよ始まる冬季オリンピック。四年前、カーリングチームの火付け役となった「チーム青森」が出場する。県民の熱い思いが届き、メダルにつながることを期待して、応援したいと思います。

さて、議会広報委員会は、町民の方々に、分かりやすくたくさんの方々に伝える、町民と議会との「懸橋」となるよう努めてまいります。

皆様の意見、感想をお待ちしております。

議会広報編集委員 沼端 務 記

### 平成二十二年

### 第一回定例会のお知らせ

三月五日(金) 開会予定  
(日程は変更になることがあります)  
会場は本庁舎三階の議場で、開始時間は原則十時からです。

### 問合せ

議会事務局(本庁舎三階)  
電話 〇一七八一五六一一二二